平成２９年度　東大和市地域自立支援協議会
就労　部会　活動報告

１、平成２９年度の活動テーマ

（自立支援協議会の大テーマ「障害者の地域での共生生活を実現するために」を踏まえた小テーマ）
平成 28 年度に引き続き、「東大和らしい障害者就労支援のあり方」をテーマに、東大和市の実情を踏まえた障害者就労支援のあり方について協議、事例検討等を行い、部会員の見識を広げる学習会のみならず、当事者やご家族、地域の就労に対する疑問や悩み、希望などに対応できるようなセミナーの企画・実施などにも取り組む。

２、活動実績

回目	日時	活動場所	内容	備考
1	7月6日（木） 13:30～15:30	中央公民館	委員紹介、正・副部会長選出 事例検討、就労支援セミナーの検討 東大和らしい就労支援のあり方検証	
2	8月8日（火） 13:30～15:30	中央公民館	事例検討 就労支援セミナーの検討	
3	１１月１３日(月) 13:00～15:20	東京都立羽村特別支援学校	事業者向け就労支援セミナー「見て聞いて悩み解決！障害者雇用！」 学校教員講話、作業実習見学、就労支援関係機関の紹介、雇用企業からのお話、質疑応答	
4	１月１２日(金) 10:00～12:00	市役所会議棟	当事者向け就労支援セミナー①「働くイメージを固めよう」 ハローワーク職員講話、グループワーク、就労支援関係機関の紹介、質疑応答	
	１月１９日(金) 9:30～12:00	ららぽーと立川及びいなげや本社	当事者向け就労支援セミナー②「障害者が働く現場を見てみよう」 仕事の見学、雇用企業からのお話、質疑応答	
5	2月1日(木) 13:30～15:30	市役所会議棟	事例検討、29 年度振返り、30 年度の取組み	

３、活動の成果

（自立支援協議会の大テーマ「障害者の地域での共生生活を実現するために」に向けて）

■第１回
・委員紹介
新しく就任した委員のためにも委員紹介を行い、改めて地域での障害者就労の支援体制を把握し、互いに確認することができた。
・「東大和らしい就労支援のあり方」検証

「東大和らしい就労支援のあり方」の 28 年度取組状況年次報告として、「市内での雇用促進に向けて」「福祉就労から一般就労移行の促進」「就労支援の充実」といった項目から、取り組んだもの、未実施のものなどを把握し、今年度の取り組みを検討する判断材料となった。
・今年度の活動計画の検討
就労支援セミナー、見学会など今年度の就労部会活動の大枠を検討した。
・事例検討
東大和市障害者就労生活支援センターより「職場定着支援の困難事例」について報告があり、職場定着支援に関する制度について、それぞれの機関の取組など話し合った。

■第２回
・地域開拓の現状と課題について
東大和市障害者就労生活支援センターより「地域開拓の現状と課題について」報告があり、検討した。取組の内容としては「就職希望者の掘り起こし」「障害者雇用に取り組む企業への助言、支援」「障害者雇用に取り組もうとする企業の新規開拓」「関係機関との連携」などがあげられ、「ハローワーク、東京しごと財団、各関係機関との連携」「福祉施設の就職希望者の掘り起こし」「B 型事業所へのアプローチの向上」などが今後の課題としてあげられた。
・就労支援セミナーの検討
① 11 月就労支援セミナー
対象：障害者雇用の促進を考えている企業の方
内容：①羽村特別支援学校見学　②雇用企業での実際例
②1 月就労支援セミナー
対象：一般就労を希望している障害者及び支援者
内容：一日目：ハローワークから就労準備性についての話、グループワーク
　　二日目：実際にいなげやららぽーとと本社で働いている方の見学、説明

■第３回
●事業者向け就労支援セミナー「見て聞いて悩み解決！障害者雇用！」
日時：１１月１３日(月)13:00～15:20　場所：東京都立羽村特別支援学校
参加者：２０名（一般参加者８名）
＜内容・成果＞
学校教員から特別支援学校での就労に向けた取り組みの講話を聞き、実際に生徒が作業をしている場所の見学を行った。雇用を考えている企業様に就職前に就労準備性を整えるための取組を学校でしっかり行っていることを見学していただくことができた。また、就労支援関係機関の紹介を行うことで、雇用時や雇用後も様々な機関と連携して支援できることを知っていただくことができた。すでに雇用している企業様からの話で実際に雇用時どのようなことをすればいいかなどの参考となったと思われる。

■第４回
●当事者向け就労支援セミナー①「働くイメージを固めよう」
日時：１月１２日㈮10:00～12:00　場所：市役所会議棟
参加者：２７名（うち当事者８名）
＜内容・成果＞
ハローワーク職員から「就職に向けて」というテーマで講話を行い、障害者の就職状況の報告や、障害者の就職を支援する各種制度について、就職するために・働き続けるために必要なこと、ハローワークでの仕事探しから就職までの流れなどを説明し、当事者が就職に向けて必要なことを知っていただく機会となった。またその後、グループワークを行い、当事者が就職について不安に思っていることや疑問について話し合う機会となった。就労支援関係機関の紹介をすることで、当事者の方にも就職、定着に関して相談できる場所として様々な機関があることを知っていただくことができた。

●当事者向け就労支援セミナー②「障害者が働く現場を見てみよう」
日時：１月１９日㈮9:30～12:00
場所：ブルーミングブルーミーららぽーと立川立飛店　及び　いなげや本社
参加者：23 名（うち当事者７名）
＜内容・成果＞
スーパーでの品出し作業などの見学し、実際に現場で働いている当事者の方から仕事内容の説明を受ける。その後雇用企業からのお話として、仕事の評価（規律性、責任性、強調性、積極性）について、店舗が求める人財など具体的に説明があり、また実際にこんな方が働いているという事例紹介もあった。その後の質疑応答の時間を持ち、「ステップアップ雇用とは？」「積極性をもつというところで資格をとられている人はどんな資格をとっているのか？」という質問や、「挨拶が大事ということがわかった」「障害を持っていてもちゃんと働けるとわかった」「実際に障害者が働く現場を見学できて、働いている方から話がきけてよかった」「働くということがどういうことか、自分にやりたいものを考えるよい機会になった」などといった感想があり、参加者が前向きに就職を考える機会となった。

■第５回
日時：２月１日(木)13:30～15:30　場所：市役所会議棟
・事例検討
東大和市障害者就労生活支援センターより「生活支援の必要な方の事例」について報告があった。職場より経済的、健康的に問題があると指摘があり、職場定着をはかるためにも生活支援を福祉サービスで行う方向に。本人やご家族の理解の部分で支援介入困難さをともなったので、スムーズな支援開始のためにはどうすればいいのかという課題について検討した。
・29 年度の振り返り、30 年度の取り組みについて検討　　下記「４」参照。

４、活動の反省点・次期への取り組み課題

＜事業者向け就労支援セミナーの感想・反省など＞

・開催してよかった。事業所紹介の時間は短くして、質問・相談時間を多くするとよかった。
・東大和の企業が参加してくださるとよかった。場所が遠かったかもしれない。
・参加された企業さんが実際に実習を受け入れてくださった。
・今回をたたき台にして更にバージョンアップした形になったらいいと思う。
・企業の方にきていただけるのがはじめてだったのでいい機会となった。
・講義形式の会場から会議ができる場にかえて、相談・質疑が受けられる形にするとよかった。

＜当事者向け就労支援セミナーの感想・反省など＞

・外部の方に話を聞いてもらうのは新鮮でよかった。
・とてもいいセミナーだったの多くの方に参加していただくべきものだったと思った。
・実際に見学にいくということがためになった。自分には難しいかもといった感想もあった。
・参加者の中には不眠になるほど緊張する真面目な方もいらっしゃった。数字やグラフ等が頭に入ってこない方もいらっしゃった。
・セミナー講義に参加して→現場を見学して→実習を受けて、といういい流れができた。
・現場の当事者の方から話を聞いて、希望がもてたという感想があった。
・講義の資料もとても参考となったので、今後当事業所で利用するにもいい資料となった。
・いなげやで働く現場の当事者の方にとっても、今回の機会はよかった。
・参加された方の中に精神障害の方も多くなったという印象をうけた。
・今後も続けていく方向で検討していきたい。

＜次年度の活動について＞

・次期のセミナーは、支援従事者向けと当事者向け（２日にわたって）の２回を検討。
・事例検討は東大和市障害者就労生活支援センターからだけではなく、各事業所もちまわりにした方がいろいろな検討事例があげられるのではないか。
・就労部会員も改めて障害者就労に関する新しい制度についての情報共有の機会を持ってはどうか。
・「東大和らしい就労支援のあり方」の中の実施担当を明確にし、その中で自立支援協議会就労部会の役割を把握していく。